

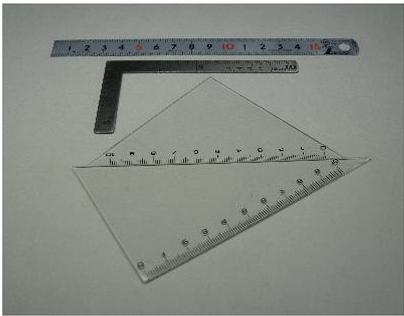
帆船模型 入門工具一覧

帆船模型入門用の工具等を紹介します。

- 1) 必需品・・・初めてのの方は、揃えてください。
必需品1・・・帆船模型製作を初めて開始する時に、先ず、揃えてください。
必需品2・・・製作過程に従って、揃えていきます。
- 2) あると便利・有用な工具・・・帆船模型を続けられる方は揃えたい道具です。
- 3) 帆船模型教室で支給するもの、自作するもの

(写真に、ステンル製 15cm スケールと一緒に撮っています。大きさの参考にしてください。)

1) 必需品

	<p>デザイナーズナイフ (必需品1)</p> <p>「デザイナーズナイフ」は刃をしっかりと固定します。一般のカッターは、刃がぐらつくので、細工には不向きです。写真は、オルファ製で、鋭利な刃が交換できます。NT製もあります。</p> <p>A4版カッティングマットも机を傷つけないために揃えたいものです。</p>
	<p>木工用接着剤 (必需品1)</p> <p>いわゆる木工ボンドです。写真は速乾性です。木同士の接着には原液を使います。糸の結び目には、浸み込み易くする為、水で少し薄めます。</p> <p>ロープの毛羽防止には、かなり薄めて使用します。木と金属を接着する木工ボンドも有用です。</p>
	<p>スケール (必需品1)</p> <p>物差しはステンル製 15cm が便利です。長さを測るだけでなく、カッターで切るときの当てにも使えます。</p> <p>三角定規 (小学生向きで十分) や、曲尺はスコヤの代替にもなります。</p>



シャープペンシル (必需品1)

芯径 0.3mm が 線が細く書けて便利です。
板材や棒材に線を書くときに使います。
0.5mm も可ですが、木に描くとすぐに太くなります。



ピンバイス (必需品1)

木や金属に穴を開けるために使います。
写真下がピンバイスで、0.1~3.2mm のドリル刃が
使える型です。ドリル刃セットも便利です。
ドリル刃は、0.6mm, 0.8mm, 1.0mm, 1.2mm, 1.3mm
を、よく使います。金属用が良。



のこぎり (必需品1)

船体外板などの板や、マストやヤードなどの丸棒
を切ります。
目が細かく、板厚は 0.15mm~0.2mm の薄刃が適
します。

写真上 板厚 0.25mm

写真下 板厚 0.10mm



ピンセット (必需品1)

細かい部品を取り付ける時、又、ロープを張った
り結んだりする時に使います。

先の尖ったものを使用します。

(先の曲がったものも有ります)



小型ハンマー (必需品1)

外板接着時の固定に釘を打つ時などに使います。
写真の小さな釘を打つので、小型が必要です。

最初の工程「船台作り」に必要です。



クリップ (必需品1)

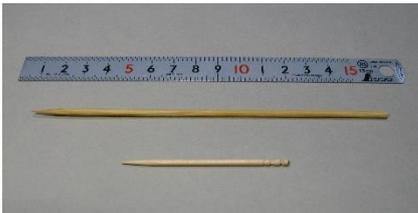
ボンドが乾くまで、又、リギンを張る時に使用。
百均の木の洗濯バサミも便利です。

先を削ったり、バネを逆に取り付けたりします。
スプリング・クランプは強力です。
豆クリップは、滑車やヤードにロープを結び付ける時に使います。



ウエス (メリヤス) (必需品1)

材料を木工ボンドで接着した後に、はみ出したボンドを拭き取ります。湿らせて使います。
楊枝などの先端に残ったボンドをふき取ります。
下着のニットシャツの古いものが最適です。



楊枝, 竹串 (必需品1)

木工ボンドを少量塗るとき、先端にボンドを付けて、塗りつけます。

又、塗ったボンドを均一に広げたり、はみ出た余分なボンドをそぎ落とす時も便利です。



アイロン (必需品2)

外板を曲げる時に使います。

模型専用のアイロンを1台用意して下さい。

家庭の衣服用アイロンは使用禁止です。

木の油分がアイロンにつき、衣服に使えなくなります。

写真は上新電機で1000円位です。



瞬間接着剤 (必需品2)

金属と木、木と木を素早く接着する時に使用。

低粘度、ゼリー状、木工専用と多々あります。
ゼリー状が便利です。

(ゼリー状は金属同士の接着では脆い事もあります)



塗料 (必需品 2)

船体, マスト, 金属部品などを塗装します。

プラモデル用, ラッカー系かアクリル系をよく使います。艶消しが基本です。

刺激臭のある有機溶剤使用の塗料か, 臭いが殆どない水性かを選びます。



ミシン糸 (必需品 2)

滑車やヤードにロープを結び付ける時に使用。

黒色, ベージュ色をよく使います。

黒綿糸 #30~#50 は, 滑車用ロープに,

黒とベージュの#90 はポリエステル糸で, ロープを結ぶときに使います。

ベージュ色は, キットのロープより若干淡色が良い。



ハサミ (必需品 2)

ロープ用の糸を切るときに使います。

刃先が細く薄い, 糸切専用のものが最適です。

(文房具のハサミでは, 糸はうまく切れません)



目立てヤスリ (必需品 2)

ブロック(滑車)の糸道の整形に必要です。

柄なしも有ります。



ヤスリ (必需品 2)

金属部品のバリ取りや, 木部の細かいところを削ります。ダイヤモンドヤスリは便利です。

(木部の広い面は, 後述のサンドペーパーを使います)

2) あると便利・有用な工具

	<p>ノギス (あると便利)</p> <p>マスト, ヤード, ロープの太さ, 板の厚さなど測ります。</p> <p>必需品ともいえます。</p>
	<p>コンパス (あると便利)</p> <p>円を描く道具ですが, 等間隔に「しるし」を付けるときに便利なツールです。シャープペン付が芯先が細くて便利です。</p> <p>デバイダーは両端とも針先で, 二点間の長さを正確にうつし取れます。</p>
	<p>スコヤ (あると便利)</p> <p>直角を確認するときの基本ツールです。</p> <p>自立できますから, 三角定規より有用です。</p>
	<p>ニツパー (あると便利)</p> <p>外板など 0.5mm 厚の板を切ったり, 0.5mm や 0.3mm の真鍮線を切るときに使います。</p> <p>(小型ニツパーは, 鉄や太い真鍮を切断すると, 刃を痛めます)</p>
	<p>外板曲げ専用コテ (あると便利)</p> <p>板を「A曲げ」で曲げる時に重宝します。</p> <p>(「B曲げ」は, アイロンが便利です)</p> <p>半田ゴテも使用できますが, 温度が高く, 焦げるので, 温度コントローラ(写真の黒)があると安心です。</p>



カンナ (あると便利)

手のひらサイズのもので便利です。
マスト、ヤードを削るときに使います。
又、厚い板から、薄い板を削りだすには必要です。
刃が交換できる洋式カンナも便利です。

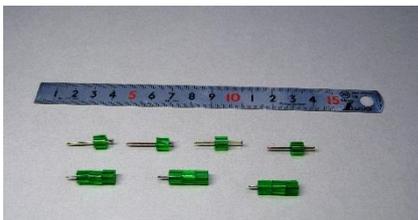
3) 教室で自作するもの、支給するもの



サンドペーパーとホルダー(自作します)

木の成型やバリ取りに使います。自作します。
サンドペーパーは 空研ぎ #100, #240, #400 を用途によって使い分けます。サンドペーパーを両面テープで適当な木片に貼りつけます。

塗装後は、耐水 #800, #1500 を使います。



仮止めピン (教室で支給します)

フレームに外板を貼るとき、ボンドが乾くまで固定用に使います。小型ハンマーで、打ち付けます。



ワトコオイル(ナチュラル) (教室で支給します)

木部に塗り、木の本来の艶を出します。
亜麻仁油を塗る方も居られます。